

ルーフ広宣

突撃!!

インタビュー

元祖・環境漫才師!
林家ライス・カレー子師

「実は小説より奇なり」
出前漫才での体験に基づいたネタ
だから面白い訳ですよ!



ルーフ…本日はご多忙のところ、ご自宅にお招き頂いてのインタビュー本当に有難うございます。この度、林家三平襲名披露、誠に有難うございました。

ライス・カレー子…有難うございます。

ルーフ…師匠のオフシャルサイトを拝見し、大変素晴らしいご活躍ぶりに感動いたしました。まず、環境漫才を始められたきっかけは何ですか?

カレー子…最初は二人とも漫談やっていたんですよ。ある時、二人で愛媛の老人ホームへ慰問に行ったら、そこが全盲の方の老人ホームだったんです。その時にある老人から言われたんです。「世の中に笑いたくない人は誰も居ない、貴方達は誰からも喜ばれる芸人になって欲しい!」と言われ、「あれっ?じゃあ私達は二つの心を一つにしよう!じゃ漫才組もう!」って事になったんです。

ライス…それが漫才コンビを組んだきっかけです。

ルーフ…なるほど。それから環境へ目を向けられたのは、どんな理由だったんですか?

ライス…父親がボルネオで戦死したので、

平成4年から毎年、ボルネオへ墓参りに行っていた。ところが行く度にジャングルが切り裂かれている現実を見て、環境漫才を思いついたの。

カレー子…私は、娘が小学校の時、PTA

活動でゴミ処理場を視察したら、分別してないゴミがいかに焼却炉を痛めるかを知った。身近な人が捨てたゴミ袋の中にポトルや缶が入っていた為、市民レベルでやらなきゃいけないと実感したんですよ。それで平成4年に環境漫才を始めたんです。ところが、当時はエコなんて言葉なかつたんですよ。エコと言ったらネコ?と言われるし、エコロジイと言ったらエロジイと言われるんですよ。

ルーフ…アハハハ!
カレー子…ところが今はどうですか? 私がネコと言ったらエコ!と言うし、エロジイと言ったらエコロジイ!と言われる時代ですよ(笑)。

ライス…アハハハ!
ルーフ…面白い話ですね。話は変わりますが、コンビを結成されて出前漫才で日本全国を交通費のみで回られたとの事ですが、その時の苦勞話をお聞かせ下さい。

ライス…忘れもしない。広島へ行った時にバスで行った訳ですよ。本当は二人で新幹線の交通費を貰ったから、バスで行っちゃ駄目なんですよ。

カレー子…ところがバスで行ったら、高速道路が全面工事してたの。

ライス…そうだよ。参っちゃってね。カレー子…私達は、こんな所で仕事やって貰っちゃ困るんですよ。

ライス…そうそう。
カレー子…それでバスが動かないから、先方に連絡しなくちゃいけない。当時は携帯電話が無いしね。

ライス…そう、それで自宅へ電話してね。まだ小学生の娘にね、「あのう、まる子ちゃんね。岡山に老人ホームがあるんだけど、電話番号調べてくんないか?」って言ったらね。調べてくれたの。立派だよ。それでね。「お父さん、岡山じゃないよ。広島だよ!」って訳で電話番号が分ったでしょ? それで助かったね。

カレー子…当時はキャラ無しで交通費の中から生活費を捻出してたから、バスで行った差額を子供達の教育費に当ててたのよ。

ルーフ…それは大変でしたね。

ライス…そうやって全国津々浦々を歩いたね。ある時、厚木の病院へ行ったら、本当に交通費しか出なくて弁当も出なかつた。それでね。ステージが上がったら声



が出ないのね。だって夢も希望も無いんだもの。

カレー子..でもそれは良かったし、良い経験を積ませて貰った。あの時の苦労があるから、今は全然困らない。ボランティア活動で培った芸と人脈が活きているの。

ライス..それが行く先々で受けてね。お陰で全国から仕事の依頼が来た。

カレー子..「事実は小説より奇なり」と言うけど、体験に基づいたネタだから面白い訳ですよ。それが見事なネタで、どこへ行っても受けるんですよ。これがね。私達のボパイのホーレン草になったね。体に染み込んだネタだから忘れようと思ったって忘れられないネタで、安心してステージに立てる訳ですよ。

ルーフ..そうですか。それが一つの原点になっているんですね。

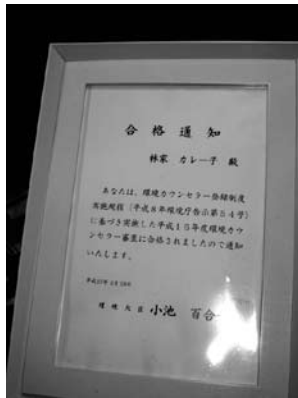
カレー子..そう、原点なんです。だから私達、環境問題で漫才やってますけども、環境問題はボランティアのベースが入っているから、どうにでも展開出来るんですよ。ルーフ..それは心強いですね。

カレー子..これはもう私達の財産でね。もう食えなくて七転八倒しながらやりましたけど。

ライス..そうだね。当時はね。安いギャラで動いていると、仲間うちからも馬鹿にされて言われたけど。そう言った連中は逆に今、仕事が一本も無くて泣いているよ。

ルーフ..ところで、環境カウンセラーに合格されたとの事ですが、それはどんな資格ですか？

カレー子..実際に五年間活動している人で、本人も環境に配慮したエコライフをしていて、年に一回は環境省に論文を提出し合格したら、面接試験を受ける。面接に合格した時に面接官が言うんですよ。お宅はご夫婦で環境漫才をやっているのに何故ご主人は資格を受けないのか？と言うから、「はい。我家は男女平等参画協同企画なんです！一人が論文書いている間に、もう一人はご飯を作らなきゃならないんです」。ライス..ラーメンを作っているんです！カレー子..そしたらね。これが受けちゃって合格したんですよ(笑)。



ライス..最近環境をテーマにした芸人が増えてるって言うじゃないですか。

ルーフ..ええ、実は私も昨年11月、地球温暖化防止チャリティーイベントを初座長としてやらせて頂きましたが、お陰様でネパール環境科学技術省のご後援を頂

き、両国政府要人のご臨席の元、大成功だったんですよ。

カレー子..そうでしたか。私達も昨日、行政回りをしたんですよ。集まってる人達は本当に環境問題に取り組んでいて、実際にやってないと一時間半とか講演するのはとても難しいですよ。

ルーフ..ところで、ブラジルに行かれたそうですが、どんな理由からですか？

カレー子..漫才コンビを組む決意をした時、ある人に電話で「私達はこれから世の中の人々に喜ばれる芸人になります！」と話したら、その人が「あっそう、貰った電話で悪いけどブラジルへ行ってくれないか？」と言われたんですよ。

ライス..地球の裏側ですよ。でも向こうから見れば、こっちが裏側だと言うんですけどね(笑)。

カレー子..行くつたつて無料で行けませんね。

ライス..それがね。一人分はあちらが出してくれましたが、二人でしょう。

カレー子..あの時は90万円ですよ。そんなお金ないのに何とか苦面して行きましたね。サンパウロ、ベレ、リオ、リオに行っただんですけど、リオには日本人が居なくて、台本を訳して貰い、次の日はアマゾンへ行くので、その台本をポルトガル語で覚えて

舞台を努めて来ましたよ。

ライス..二世だから日本語知らない訳ですよ。

ルーフ..それは、凄い！国際漫才の魁です！

カレー子..それでね。成田に着いたら通行税二人分で4千円ですよ。

ライス..でもそれを払ったら特急電車に乗れない(笑)。

カレー子..そう、二人で各駅停車で揺られながら帰ったね(笑)。でも、その経験があつたから出前漫才を思いついた。

ライス..「苦労は金で買ってでもしろ」と言いますが、それが全て身になったんですよ。

ルーフ..凄なお話を聞かせて頂きました。

今回は更に核心に入り、奇術協会との関係、ご一家揃って林家一門としてのご活躍とエコライフ、そして芸人のあるべく姿とはは激白！

請う、ご期待!!

尚、林家ライス・カレー子師へのお仕事のご連絡先は下記の通りです。
 もしもし 0422-53-7136
 もじもじ 0422-51-9161